

第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

男子準決勝

試合日	2023年2月12日
会場	エコパアリーナ
コート	Aコート
開始時間	11:20

TEAM A		TEAM B															
藤枝明誠 (静岡)	57	43 桜丘 (愛知)															
	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>9</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11	-	13	16	-	9	21	-	12	9	-	9		OT		
11	-	13															
16	-	9															
21	-	12															
9	-	9															
	OT																

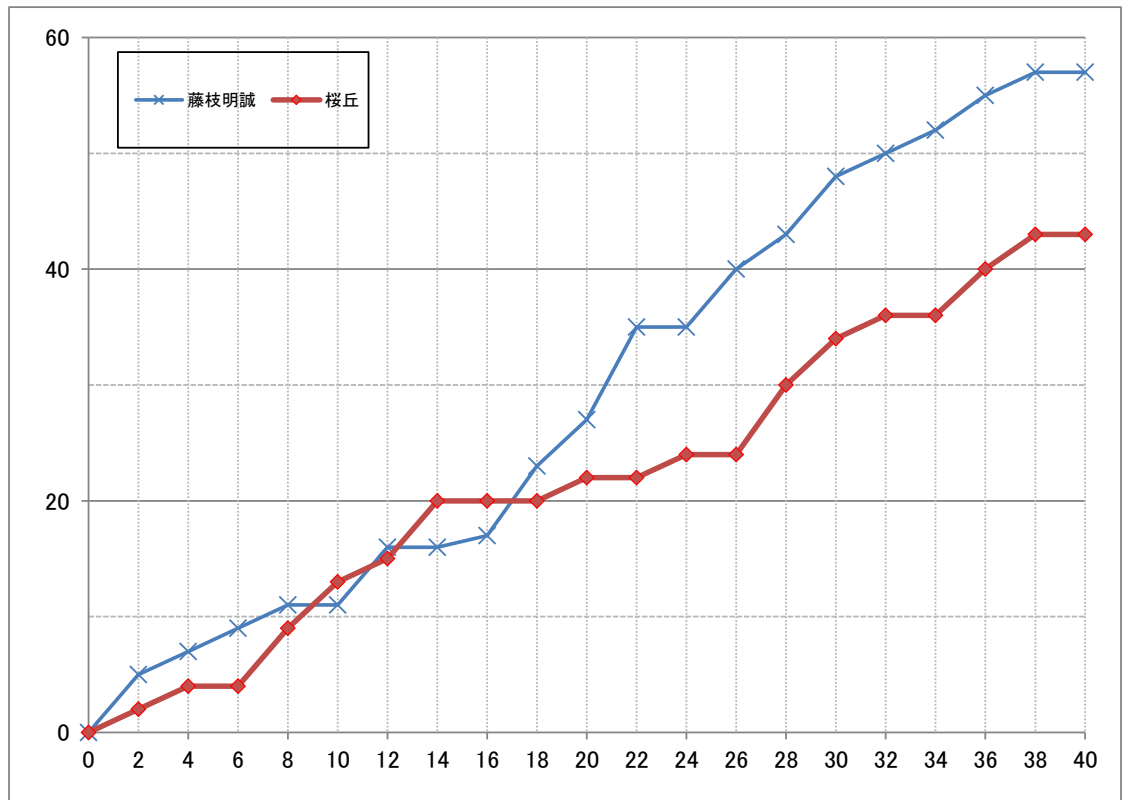
TEAM A 藤枝明誠 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
1	DNP	野田 遼 聖	0	0	0	0	0
3		渡邊 虹 道	2	0	1	0	1
9		大浦 武 蔵	0	0	0	0	0
12	*	赤間 賢 人	19	2	5	3	2
13	DNP	荒井 栄 大	0	0	0	0	0
16	DNP	渡辺 倫 久	0	0	0	0	0
17	*	小澤 朋 樹	22	4	4	2	2
21	*	大塚 絢 心	4	0	2	0	1
26		鬼倉 拓 司	0	0	0	0	0
28	DNP	早津 奨 吾	0	0	0	0	0
34	DNP	高橋 星 名	0	0	0	0	0
69		白崎 上 総	0	0	0	0	0
88	*	天田 虎 之 介	3	1	0	0	3
91		遠 藤 新	0	0	0	0	0
99	*	ボス ロード フリンス テノンソ	7	0	2	3	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			57	7	14	8	11

TEAM B 桜丘 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
1	*	館山 洸 騎	22	0	9	4	0
7	*	セイ バブ マムウル	14	0	7	0	3
9	*	平 寿 哉	0	0	0	0	1
18	DNP	畑野 瑞 季	0	0	0	0	0
27		中尾 颯 児	0	0	0	0	1
32	DNP	松井 快 吏	0	0	0	0	0
35	DNP	竹林 俊 哉	0	0	0	0	0
36		橋本 岳 大	2	0	1	0	3
37	*	服部 フェルナンド	2	0	1	0	1
40		高尾 ショーン	0	0	0	0	0
43	DNP	河 邊 航	0	0	0	0	0
45		中神 潤 也	0	0	0	0	0
47		三浦 旬 太郎	1	0	0	1	0
60	*	野末 歩 夢	2	0	1	0	2
63		松井 武 蔵	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			43	0	19	5	11

【得点経過】



【戦評】

1Q
東海新人準決勝は、静岡県と愛知県の1位同士、藤枝明誠と桜丘が対戦し、技術面や高さなどハイレベルな試合が期待される。両チームともマンツーマンでスタートし、桜丘#1館山のジャンプシュートで先制する。すぐさま藤枝明誠は#17小澤の3P、#12赤間のジャンプシュートでたて続けに得点し、ゲームの主導権を握る。桜丘は#1がバスカンとジャンプシュートでやり返し、一気に11-11の同点にし、流れを引き戻す。さらに桜丘#1館山の速攻からのシュートで逆転する。均衡した雰囲気を持続したまま、藤枝明誠11-13桜丘で第1Qを終了する。

2Q
第2Qは桜丘#1館山のドライブで加点するも、藤枝明誠は#17小澤の3P、#99プリンスのバスカンで応戦し、トランジションの激しい展開に変化する。桜丘のエンドスローインのセットから#7マムウルの力強いダンクが決まり、均衡が崩れるかに見えた。その間、藤枝明誠#99プリンスがテクニカルファウルを取られるも、その後のオフェンスで藤枝明誠#12赤間がジャンプシュート、ドライブから連続得点し、逆転する。桜丘は残り3分15秒にタイムアウトをとり、ディフェンスのプレッシャーを強める。桜丘#1館山のスティールから、藤枝明誠のアンスポーツマンライクファウルを誘うが、得点には結びつかない。藤枝明誠#3渡邊が終了間際にジャンプシュートを決め、藤枝明誠27-22桜丘で後半へ向かう。

3Q
開始直後に、藤枝明誠#12赤間と#17小澤の3P、#12赤間のドライブからの得点で一気に点差が開き、桜丘はたまたまタイムアウト。桜丘は#37服部のポストプレイを起点にしながら、#60野末がレイアップを決める。5分間の得点はその1回に留まる。一方、藤枝明誠は#17小澤のジャンプシュート、#88天田の3Pで点差を広げていく。桜丘は#7マムウルがジャンプシュートとゴール下で連続得点し追いつくが、藤枝明誠は#99プリンスのゴール下、#12赤間のブザービーターの3Pが決まり、藤枝明誠48-34桜丘で第3Qを終了する。

4Q
桜丘は#7マムウルの合わせのシュートで加点し、藤枝明誠は#17小澤の速攻からのシュートでやり返し、一進一退の攻防が続く。藤枝明誠は#12赤間が1on1からバスケットカウントを決めて攻勢を強めるが、桜丘は#37服部がジャンプシュートを決めて粘りの姿勢を見せる。しかし、藤枝明誠はディフェンスのプレッシャーを緩めず、点差は縮まらないまま試合終了。藤枝明誠57-43桜丘となり、#99プリンスを中心に安定したディフェンスリバウンドを確保した藤枝明誠が決勝進出を決めた。